

## 学習指導案(教科:音楽)

### 1 授業内容

科目:音楽

単元:オペラを知る「魔笛」第2回/4回

### 2 本時の指導計画と評価方法

#### (1) 単元の目標

オペラの特性や構成について理解を深める。実際に表現者を体験し多角的視点から物事をとらえる  
思考力・想像力を身につける

#### (2) 本時の目標

グループに分かれ演奏発表の準備をする

#### (3) 本時の評価基準

(関心・意欲・態度)オペラの構成や歴史に関心を持ち「魔笛」をより深く理解しようとしている

(思考・判断・表現)学習課題について多角的に取り組み、まとめることができる

(知識・理解)獲得した情報や技術を適所で表現に利用することができる

(技能)他声部や楽器とのかかわりや全体の響きをとらえ、表現する技能を身に着け創造的な表現となっている

#### (4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	第1回授業の振り返り	・前回からの課題プリントの解答を確認し、授業者の解説を聞く ・You tubeで「夜の女王のアリア」を鑑賞する。	・本時の課題は「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の演奏発表に向けての準備なので、興味を失わぬよう配慮する
展開 (40分)	・「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」鑑賞  ・「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」をグループで演奏する (アルトリコーダー、ソプラノリコーダー、ソプラノ歌唱、バリトン歌唱の役柄をグループ内で決めさせる。) →演奏者の決定をすることで鑑賞して得た情報を活用させる	・You tubeで「 <u>パパゲーノとパパゲーナの二重唱</u> 」を鑑賞する。  ・ <u>グループで役柄を決め、その決定理由をワークシートで提出する。</u> ・代表者が決定した役柄を発表する。 ・高速「パ」連唱の技術を獲得する。	評価【関心・意欲・態度】 オペラの構成や歴史に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・ある程度の脱線は必要 ・各グループの進捗状況を注視する ・全員に歌唱練習のヒントを伝え、練習をうながす 評価【知識・理解】 オペラの特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を理解している。 評価【思考・判断・表現】 音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 評価【技能】 他声部や楽器とのかかわりや全体の響きをとらえ、発声、言葉の発音などの技能を身に付けて歌っている。
まとめ (10分)	次回(第3回)授業予告	・発表にむけて、グループの演奏についてテーマカラーを決める。 ・なぜその色なのかを発表会時にスピーチできるようにする。	・授業内で発表会を実施する旨と必要事項を伝える。 ・全グループ同じ課題なので各グループの想像力が発揮できるよう注視する。

#### (5) ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開部分である。配布された資料をもとに、グループ内で学習発展させる。

#### (手順)

- 1 ClassPad.netを活用して「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」鑑賞する。
- 2 グループ演奏の参考音源として自由に再生できるよう、ClassPad.netのリンクふせんを活用して、音源のURLを生徒に配布する。
- 3 ClassPad.netの配布機能で配布したワークシートに、グループ演奏役柄と決定理由を記入させ、提出機能で生徒に提出させる。

#### (ClassPad.netを活用する効果性について)

・参考となる音源を各グループで自由再生することで、創造力を高めることができる。

・提出機能を使用することで、各グループの状況を共有でき、次回授業への期待と一体感を獲得することができる。